

## 三重県の中間支援センターの目指すべきあり方研究会議事概要

日 時：平成19年8月20日（水）13：30～15：30

場 所：みえ県民交流センター交流スペース

参加者：浦田宗昭（いせコンビニネット）、吉島隆子、出丸朝代（旧センター運営委員会）、中盛汀（ウィリアムテルズアップルまちづくりセンター）、井上淳之典（みえきた市民活動センター）、世古口文子（めいわ市民活動サポートセンター）、岩脇圭一、（津市NPOサポートセンター）、竹村浩（三重県子どもNPOサポートセンター）、川村透（伊勢志摩NPOネットワークの会）、岡嶋多華夫（ ）、北出真由美（三重県社会福祉協議会三重県ボランティアセンター）、前川浩也（伊賀市市民活動支援センター）、安村富子（みえ市民活動ボランティアセンター）、福本ゆかり（熊野県民センター）、梅谷陽子（尾鷲県民センター）、福西秀文（伊賀県民センター）、松野幸雄、中村敏孝、明石須美子（NPO室）

議事概要：

### 【開会】

- ・ よろしいでしょうか。じゃあ始めさせていただきたいと思います。最初の方に配っていただいた事項書と前回の議論をまとめた、課題ワークショップというやつですね。それと、問われる市民の力量という3枚が資料で渡させていただいています。事項書に沿って少しいきたいと思うんですが、自己紹介は先にしてもらってるところもあるのでとりあえず、研究員かオブザーバーかというのだけはっきりさせたいと思います。実際まだ任意団体的なところがあるので、前回は話させていただいたんですけど、正式な懇話会ということになるんですかね。ちょっと名前はまだわからないですけど県のほうでの取り扱い事業というか研究会というか、懇話会というのかそういうのになっていきますので、そのときには完全にきちんとオブザーバーか研究員か分けていくような形になると思いますが、今のところある程度は任意で。一応、研究員かどうかというのは分けさせていただきたいと思います。とりあえず先に自己紹介はしたので省きますが、その前に室長の方から一言お願いします。

### 【挨拶】

- ・ 挨拶するようなことはないんですけど、前回から遠くの方も来ていただきましてありがとうございます。今日は2回目ということで、前回課題出しをしてもらったわけですが、それに基づいて意見交換ができればと思っています。よろしくをお願いします。

### 【ふりかえり】

- ・ ありがとうございます。じゃあ前回は振り返りたいと思います。資料は、お配りした課題ワークショップ2枚で綴じてある分です。前回みなさんにポストイットで出してもらって少しだけ整理をさせてもらったのを文字で落としたものです。内容的にはポストイットと一緒に。両方見ながら少し振り返りたいと思いますが、この間終わってからち

よっと整理しました。

#### 【全体的課題】

- ・ まずは全体的なあたりで出ていた意見。資料でいくと最初の部分です。一番上の部分です。三重県の間接支援センターとしての課題というところ。中間支援の支援センターの区別、役割分担をいかに進めるか。市町のセンターと役割分担、明確化。この辺が課題じゃないか。あとは三重県の間接支援センターということは、県域としての中間支援のあり方を考えていくのか、市町の間接支援の先進モデルとしていくのか、ちょっと方向性の問題なんかも出てきました。あとは先進的な施設であったがそれについて役割を終えつつある。県域センターとしての役割の再検討が必要だろう。県内各地のセンターが、十分機能してきたときの県のセンターの役割は。だから、三重県の中核になるセンターというのがどんなふうな方向に行くのかというのが、課題としてあるということは、みなさん認識できたのかなと。
- ・ あとは、市町のほうでは民の自由さとか公のルールを守る姿勢を貫けるか。あとは説明責任が弱いのではないか。強さはあるのかとか、合併して広がった地域の把握とかいうことが出てきました。それが全体の方向です。

#### 【資金】

- ・ あと少し整理させてもらった、資金の方は三重県としてはあまり意見が出なかったんですが、深めていくと出てくるんじゃないかと思いますが、市町のほうでは資金があっても行政なら使える幅が狭いという問題。あとは資金調達自体の問題ということまで出てきています。あとは経営、主に人や金の不足。あとは事務的経費の確保、捻出。あとは収入を得られる事業がないと。中間支援はなかなかお金がやりにくいというのも出てきました。あとは人材育成する余裕がない。ジャンルが広すぎて助成金等に応募しにくい。等、市町のレベルではそんな課題が出ています。これはまた後で少し議論も進めていきたいんですが、この辺ひよっとすると、こういう市町の間接支援のセンターの課題があるということは、県の間接支援センターは何をするべきなのかというところも少し話せるところかなと思います。

#### 【研修・人材】

- ・ あとは、研修みたいなのも少しまとめることができました。研修の方は市町のほうから見てみると中心人物への負担が集中しているのではないか。人材の偏在とか不足。事務局員の確保や資質の向上というのが課題ではないかと。あとは行政との協働のコーディネートができるということが必要だと。あとは人材の確保、支援する人の能力がない。中間的な位置でものを見る人が必要だろうと。次はネットワークなんですね。それでそうすると県の中で出てきたのは研修の仕組みが必要ではないかということが出ています。

#### 【ネットワーク】

- ・ それで次をめぐってもらおうとネットワーク。市町のほうから、右のほうですね。そこか

らちょっと言うと、利用する団体の固定化とか、誰かに会えて自由に話ができる場所があること、人がいること。これ大事なんじゃないかという話でした。あと公設の場合のネックでもあるかもしれないなど。あと6割ネットワーク、付き合いのコツ。あんまりひつつきすぎてもいけない6割くらいに付かず離れずということですね。あとネットワーク作りが大事なんじゃないか。各市町のセンター間のネットワークの仕組みについて、もっと充実しないといけないのではないかな。他団体の情報共有・交換も必要だろうという課題があるだろうと。市町の単位で中間支援を担う。団体間の交流というのも必要なんじゃないかというような感じだったかと思います。あとは行政との連携も必要だと。これは課題があるなということもあるのかな。あとは縦割りの垣根を越えられるかという問題もあると。あと他の市町との交流が進まない。社協間の交流というのも課題として挙げられています。それで良い例として伊賀市の社協ってというのは他団体との連携が実践されているようなところだという話も出ました。

- そういうところで三重県のほうはというと、ネットワークは県庁の中での連携の課題というのがあるのかな。あとはNPO以外の連携の強化というのもこれから課題があるだろうと。あと市町の各市民活動センターとの連携についての分担。これは県内のネットワーク作りについての課題というのもあるだろうと。あとは県でのネットワークと情報集約機能とういうのも必要ではないか。あとは地域のセンターとの連携ネットワークという部分の課題。あとは中間支援の県域のネットワークを考えたときのメンバーはどうなのかということも課題として出ていました。だいたこのへんがネットワークですね。

#### 【活動支援】

- あとは活動支援としては、また市町の右の方からいくとNPO支援力が不足しているのではないかな。設立とか経理、税務相談といったものが不足しているのではないかな。あとは悩みの解決のための相談にのってくれる人がいるということが大事なのではないかな。あとは中間支援病というのが出てきましたね。中間支援の人になると必ず陥る病気があるという。中盛さんの造語の中間支援病というのが出てきました。あと、中間支援には終わりが無いというような話も出てきています。
- それに対して三重県のほうの県域の中間支援ということはセミナーなどソフト事業が少ないという課題が出ていました。あとは企業のCSR活動と連携サポートが必要ではないかとか、マネージメントなど研究的役割を持つセンターにならないといけないのではないかなというのが出ていました。

#### 【情報】

- あと情報の発信のほうでいくと市町のほうは、情報受発信。あとは認知度の不足、まだまだ知られていないというようなことも出てきています。あと行政は場所さえあればいいと思っているというような課題も出ていました。あとは何を目指して設置しているか理解していない。中間支援センターということば、内容を知っている人は少ないのではないかなとか。あと行政組織としての位置づけが弱い。あと中間支援の内容はどういうこ

とを支援しているのかということも認知不足というようなところと同じような感じだったと思います。

- あとは県の方はどうか、情報はどうかというと、やはり情報の受発信機能が必要だろうと。それでさまざまな事例を持ってほしいなというところも出ていました。あと全国的な課題をどう捉えるか。あとは情報のデータベースを県としては持ったほうがいいのではないか。あとは情報の収集と発信というのは市町村との関係ってどう考えるのかというのが課題ではないかということも出てます。あとは他の都道府県のNPO、中間支援の動きがわかるセンターというのにならないといけないのではないかと提案ですね。県内のNPOの動きが一望できるセンターというようなことが出ていました。

#### 【その他】

- あとその他としては、三重県の中間支援センターというところで県域を対象とするサービスをするセンターに本当にパソコンや印刷機は必要なんだろうか。個人相手のサービスって必要かなというようなことも出てました。あとパソコンサービスは中止にしてみてもどうか。自由に使えるスペースを残して、会議室は県管理としてはどうか。あと市民活動ボランティアセンターの名前は、これの問題もあるなというのがありました。返上したらどうかとか。あとは市民活動に特化しないセンターのあり方、存在のあり方。あとは県民交流センターという市民活動センター以外の機能と同居しているという課題があるのではないかと。仕事の整理をしないといけない。ほしいとか、もういいとかいうのを整理してはどうか。というようなのが前回出された意見を少し整理したものです。

#### 【本日の進め方説明】

- こんなのをまた頭に入れてやっていきたいと思うのですが、一応ここで研究会のメンバーなのか、あとまだちょっと決まっていないう任意的なところもありますのでそれだけ確認させてもらいます。一応正式に研究員ですっていう人は手を上げてください。今のところ任意で、今後は行政の要項に従っていくと、これから正式になっていくということと、それはまた行政の中で判断してもらったらいいかと思います。あとオブザーバーなんですけど実際には任意なのでオブザーバーの方もどんどん意見を言ってもらえればいいかなと思います。そんなところで進めていきたいと思います。

#### 【ビジョンを考える上での目標達成期間を考える】

- ということで、まず前回いろいろさっきの説明したような感じで、意見をちょっと整理はしてみたいんですが、まず目標のこれからのビジョンとかを作ることが前提になってくると思います。その中で、そのために必要な機能とか戦略だとかいろいろ出てくると思うんですが、どの期間でビジョンを導いたらいいかというのを設定しないと、バラバラになってしまうということもあるので、そのへんを議論していきたいと思います。今のところ県としては21年度からは指定管理者にしたいというのが決まっています。例えばそのあとが何年ぐらいの指定管理者として出していくのかっていうのは決めてますか？

- 三重県としては3年、次5年というスパンとして県は考えています。
- それで、もし民としてこのセンターを見たときはどうでしょう。何年ぐらいのスパンでこれからのビジョンを考えるといいだろうというところなんです。期間としては関係ないです。ただ県としてはそういう委託で考えていると。参考として考えてもらえればいいですけど。短期・中期・長期とあると思います。
- ここの研究会で研究するのは、一応私は将来どうするかっていう長期を考えた上で中期と短期を考えるべきだと思うんです。ゴールは何かっていうことを描いた上で、じゃあ段階はどうなってるかっていうことを考えるべきなので、結論として出すのは、例えば3年後を出すにしても将来はこういうふうに見せるとこうなるという言い方をすべきだと思います。
- ありがとうございます。まず長期を考えて、その中でたぶん指定管理者としては3年とかでしてくるので、そのへんを出さないといけないと思うけど、この会としては長期で考えたいと。
- 3年先のことを提言したいけど将来を考えないと、その3年先はいえないということです。
- だから長期の部分で、みなさん考えましょうと。それを前提として3年なり5年なりをどうだろうということは出てきていいと思うんですが、そんな形で考えていきたいと思うんですが、まずは何年くらいかというところなんです。ちなみにうちの伊勢市民活動センターは8年が長期で一応考えていました。これはよく行政的には10年とかいうようなこともあったりするんですがどうでしょう。どれくらいまでみなさんが三重県の間支援センターがビジョンとして100%理想として考え・・・特にないですか。あるべき姿までやらないと。
- 何年と決める必要はない。
- 特に何年って設定しなくていいですか。確か伊勢の市民活動センターも8年でしたね。立ち上がり時期とか段階を追って、例えば3段階。それにワンステップに何年かかるかっていうのは別として、立ち上がり時期。それから定着時期とか、長期的な目標に近づいていく時期とか、そういう感じの区割りでどうかなと思いますけど。一つのステップを何年と決めるのではなくて、ホップステップジャンプという感じとするというのも一つの手かなと。
- ホップステップジャンプで、ちょっとそれは極端ですけど。
- だから議論はある程度3年なりっていうところを中心にはして・・・最初3年ですね。3年くらいのところではやっぱり議論はある程度する方向でいいですかね。だけど、長期的なあり方というのはやっぱりみなさん頭に入れながらということ。ただ、あんまり時期を長期ビジョンみたいなのがどれくらいにどうかっていうのはあまり何年というように区切らない方がいいということでもいいですか。
- 10年先と20年先が一緒なのかっていうだいたいイメージとして、10年先くらいで考

えましようとかいうのはなくっても考えられるものですかね。

- 今話されているのは、「どうあるべきか」っていう目標に対して、「今から何をどうしたらいいの」っていう議論をすれば済むので、「どうあるべきか」が10年後なのか20年後なのかっていう話はちょっと置いとかないと。10年後に限定してしまうとそれまでにどうするかというのを非常に細かく設定しないと出てこなくなってしまう。「今からやること」と「中期的、長期的」っていうのはある程度議論はされていくと思うんですけど、「あるべき姿」があって、それに向かうために、まずは、県が設置しているこのセンターがどういうふうなものであればいいのかという「最終的にあるべき姿」というのが最後にくるわけで、それは別に早ければ5年後になってもいいわけで、年を区切ると余計に話がややこしくなるので、今現在考えられるセンターのあるべき姿というのを明確にして、そのために指定管理という制度が入ってきたときにどうなるかということ。
- それで、この整理もそうなんですけど、民設民営の話と公設公営の話がごっちゃになっているので、その部分としては現状として捉えて整理した中で、今回の話というのは、今の県としての中間支援センターというのがいかにあるべきかっていうのを明確に出した上で、この指定管理についてどんな形に持っていけるかという話に集中化したほうがいい。地域のセンターの話をする、どうしても民設民営の資金の問題、公設公営の動きのぶい問題っていうのが顕著に出てくるだけで、そこは現状として非常に大事ですけど、それが県のセンターについていうのはちょっと違うパターンも出てくるのかなと思います。
- ありがとうございます。先ほどの意見にもあったようにホップステップジャンプじゃないですが、目標を目指してこんなふうにしていくというあたりで、多少短期・長期でこんなふうにしていくといいのかなというような方向で、議論を進めていくと。それでいつまでに完成というよりは理想の中で何ができるかというあたりを中心に三重県の中間支援のあり方について考えていくと。

#### 【指定管理者制度導入って】

- それで、前回も少し話に出ましたが、基本的にはこのセンターです。この場所で三重県の中間支援センターをやっていくというところでの形で考えていこうというふうに思っています。一回少し、本当に指定管理者がいいのかという議論を先にしないといけないのかなと思いますが、基本的には今回はここで行われる中間支援としての中間支援センター、ただ県の中間支援センターなので、全国的な中で動かないといけないのではないかなというようなことは、前提として入れてもらってもいいかもしれないですが、基本的には、ここでどうあるべきか、という中で考えを進めていきたいというふうに思っています。ということで少し、実際この議論に入っていく前に、本当にここは指定管理者制度でいいんでしょうか。その辺はみなさん、どんなふうに考えているでしょう。
- それやりだしたらキリがない。
- とりあえず、今のところ意見だけでいいと思います。現状をみなさんはどんなふうに考

えているのかなっていうところで、これたぶん県としては基本的に覆らないことだと思いますが・・・覆らないことはないでしょうけど、かなり厳しい状況であると思いますので、ただ実際みなさんはどう思っているのかというのは意見だけは聞かせていただきたいと思います。

- ・ 私は指定管理者制度の導入は賛成できないんです。あと3年くらい行政で頑張ってもらって、その間に民間の方で、言うならば市民セクターの大きな塊を作って、セクターをマネジメントする組織体となって、そこへNPO室が移転していく。NPO室が、今している仕事で、県が必ずしなければならない仕事というのは認証だけですよね。三重県知事としてしなければいけないのは、それ以外のところは市民活動を支援するためのいろんなことをしてくれたり、行政と民間のコーディネートをしてくれたり、ここの運営をしてくれたりしてるわけですから、民間と代わってもなんら遜色がないはずですよ。ですから3年間くらいの間に移行の期間を作って、民間に渡していく。委託じゃなくて、すっかり民間に渡す。県の業務からなくすということです。私はそういうふうに行くのが自然かなと思ってますけど。
- ・ 今の意見もそうなんですけど、基本的に先ほど言いました県との役割分担の話でいくと最終的に行政としてしなければならない範ちゅうと、市民がするべき範ちゅうという話でいけばそういう形ですので指定管理が一概にいいというのは、極端な話、人を減らすにはいいかもしれないけど機能を上げるには、逆に言うとダメな部分ってけっこうありますので、現状としては、指定管理はまだ早い。早いというよりは移してしまう、仕事を行政の仕事でなくせるようにするにはどうしたらいいかっていうのを考えて、多分、指定管理うんぬんというのではないんじゃないかなというのが私個人の意見です。ただ県の側から見れば、どうやってかかる経費を少なくして同じかプラスアルファのサービスを提供するかという一つの選択肢ではあろうかと思いますので、当然ながらその選択肢もあろうかと思いますが、大きく見れば指定管理うんぬんの話ではないんだろうなというふうには思います。

#### 【指定管理の受け皿は？】

- ・ ものすごく単純なことなんですけど、例えば、というか受ける団体というか、そういうところっていうのを想定しているのかなってちょっと思ったことがあるんです。だから、そういうところを育てていってから引き渡すというならわかるけど、募集っていつでもここで話し合ってきたことが理想であって、そこに団体にポンと渡ったときに全然かけ離れた運営をされたらどうなのかなって不安に思ったことはあります。
- ・ 話がダブるかもしれませんが、なかなか急に指定管理で受ける団体のイメージがわからないというのが、今、非常に懸念してます。県の機能として今までやってきたというのはやっぱりそれなりの意味があって、広域で考えて国とか、あるいは中間支援の団体が集まって議論したり、研鑽する場でもあったわけで、個々のNPOは、例えば中間支援をしているNPOにしてもやっぱり、地域密着型であって県全域まで見たような団体とい

うのではないような気がするので、そんなふうによくいくのかなというのが一番の心配ですね。

- 私が今日出てきた一つの理由は、地域の公設民営形の市民活動センターを視野に入れてらっしゃるけれど分野別の中間支援も三重県全域を視野に入れて活動しています。先ほど県域の中間支援はないとおっしゃったんで、一応やっています。でもどこまで来てるかはいろいろあると思います。それと、指定管理者については、僕は将来的には、例えば、今すぐにはそうはいかない先の段階を見たときに、場所は必要なんだけど場所にこだわらなければいい。そこを考えると機能をどういうふうに高めていくかを考えたらいいんですけど、なぜ段階的にいくかというのと、そこに要するに場所であるとか人であるとか資源の問題があるので、そこを機能だけ委託するとか、指定管理者にするとかが難しければ、そういう意味で場所にこだわらないんだけど、まず場所で考えてもいいかなと。基本的には機能ですからいいと思います。
- あちこちの全国の中間支援とか、いろいろ見てきたんですけど、やっぱり見て思うのは、まずは三重県ってどこが先導的かなというのは、情報流通とか情報公開がすごいなと思うんですよ。さらに思うのが研究なき、実践なき、実績なき団体というのはやっぱり人が育たないなというのを改めて思っていますね、それがなくて情報流通があっても意味がないなというのがあって、まず、その事業がしやすい団体であればいいと思います。
- あとは良かったですか。これはどちらかという指定管理者ありきではないというのがほしいみなさんそういうところはあると思います。ただひとつ、先ほど支援というのが話に出てきたと思うんですけど、実際に今受けられる、手を上げたいという団体というのがいるのかどうかという課題も少し話して、ただ、これ実際には、指定管理に出されてくると思うんですよ。その中で、たぶんこの研究員とかオブザーバーで参加してもらう方の中で、話を進めていったときにひょっとして、他にないよということになると、自分達一生懸命どうしていくかというのを共に考えて・・・まあ今回ないんですけど、そういうこともぜひ頭に。
- どこが受けるか指定管理を受けるか、そこまで考えながらこの研究を進めていくっていうのはおかしいと私は思う。誰が受けるか、受けれる団体があるか、受けなかったらどうするかってそういうことを念頭に置いて研究を進めるというのは違ってると思うということが言いたいんです。そうでしょう。それとは違う次元でその問題があるだけで、その状況にこの研究会が左右されるわけがないわね。もっと純粹にやりたいですよ、私。
- ただ、今のところそういう課題があるよっていうのはやっぱりみなさん頭に入れておいてもらった方がいいかなとは思っています。ただそれは関係なく、意見は進めていきたいなと思います。

**【みえ市民活動ボランティアセンター運営委員会の資料説明】**

- じゃあですね、中身の方に入っていきたいと思いますが、全体的なほうで。ここからい



きたいと思います。まず今の課題として、やっぱり県との役割分担というのが大事だという話が出てきています。あと、もともと先進的な施設だったというところで、今日資料をお持ちしてもらっています。この資料の説明をしてもらっていいですか。

- すいません、資料の説明っていうより前回の説明のときにうまくいかなかったかなと思って、データの何か残ってないだろうかと思って過去のデータを見たら残っていたものですからいつ書いたものか、何に書いたものかっていうのは全然覚えてないんですけど、ただ運営委員会としてどうしたいとかこの経緯だとかがコンパクトにまとまっているので一応参考になるかなと思ってお持ちしただけです。あくまでも参考資料です。
- この間、運営委員会についての話が少しあったんですが、これをちょっとパッと見させてもらって運営委員会でやってきた部分について、どんなふうなそのときのビジョンというんですか、こんなふうなセンターにしていきましょうというところは多分、もう少し説明があるかなと思うんですけど。この間のところでまだちょっとはっきりしなかったかなというところがあるんです。これでたぶん運営委員会でどんな形でしてきたかというのをこのパワーポイントの資料ですかね。割と課題とかあたりがうまく整理されてるところがあると思うので、ここだけ説明してもらっていいですか。ここが前より整理されてるかなって思ったんですけど。
- 平成13年・・・先進的っていうのは常に感じていたんですけど、情報開示っていうのは先進的だったと思います。それは常に、予算も運営委員会の議題としてあげて、NPO室の予算が今これだけあって、使えるお金がこれだけあるけど、どういうふうなことをしていけば機能を果たせるかっていうようなところの相談をしていただいたっていうのがありますから、そういうところはその当時全国的には他になかったのではないかなというふうに思っています。予算まで開示して議論の遡上に乗せたっていうのは。それとやはり、NPO室さんの指導というのがありますけど、かなり市民社会としてのあるべき姿っていうのを、こういう機能が必要ではないかっていうふうなものを、段階を追って進めると同時に、市民にも早く自立しなさいというふうなのが追いついて進められてきたので、評価にしても何にしても全国でいち早くというふうにできたのかなと思っています。

#### 【これまでの三重県のNPO施策】

- 先進的なのは、情報開示などがあって市民セクターに対しても提言みたいなのがあって、それがけっこう明確だったみたいな感じですかね。じゃあ逆にそれをしていて、これは何とかしないといけないなという課題というか問題というか浮き彫りになってきたものというのは、実際にやってみてどうでしたか。
- 地域に個々にいろんなセンターがいち早く、それこそ民設民営から公設公営、公設民営というバラエティにとんだセンターができてきたっていうのは、この三重県の特徴かなというふうに思っています。だからそれは運営委員会としてっていうよりも三重県としての政策理念が明確であったので、そういう政策を進めた結果、やはり根本的には人材

育成と、後発のNPOという人たちをどういうふうにしていくかっていうところが課題なのかなというふうに思います。だからリーダーとか優れた人はかなり初期の段階から活躍の場を得ていたというふうに感じています。

- ということは、その理念に沿って活動していたので、全県的に各地の中間支援のセクターが生まれてきて、でも課題は人材育成とか核になる人以外の人材をどういうふうに広げていくとかかそういうことが課題だったんですかね。
- それとですね、やはり県としての政策が明確であったので、NPO側が常時押されぎみということが、みなさんが問題にされておりましたけれども、税金で強いセクターとかかそういうものに、なんていうのか……。リーダーとか組織とかいうのはありましたけども、そういう形には三重県はなっていないかなというふうにはずっと感じています。
- 個別リーダーは各自で育ったけども、県が強いリーダーシップを発揮していたので、中心が実はあまり育っていないじゃないかということでしょうかね。
- 分野別の、例えばこどもNPOセンターとかは、それぞれのところのリーダーさんの取りまとめとか、やっておられるんですけども、弱い部分もあるなというふうなことを感想として持っています。

#### 【県の間接支援センターとは？】

- これぐらいでいいですか。たぶん、このへん考え方とかそれぞれで、いろいろ思いも違うとは思いますが、ここはまとめるところではないと思うんですけども、確かに三重県は先進的なことをやってきたので、ただこれからセンターをどんなふうにしていくかという方向性を、今のところ全体的なところから出てきた課題をまとめていきたいんですが、一ついえるのは今回、市町のほうの課題は何となくイメージとしてある中で三重県としての中間支援センターというのが、まあ次の課題のほうで進めていきたいんですが、県域として、中間支援として考え、ここは市町の中間支援の先進モデルなのかどうか、モデルとしていくのかということについて、この辺を先に詳しくみなさんに……
- 詳しくというか、書かせてもらったそのままだと思うんですけど。私はここの開設当初は関わっていなかったんで、実際どんなふうにかかれていたかというのはわからないんですが、ただ、先進的なモデルとして、このみえ市民活動ボランティアセンターが立ち上がって成されていったっていうのを聞いてまして、もしそれであれば、例えば各地、松阪・津・伊勢とか、それぞれの狭い県域ではないエリアを見た市民活動センターの運営の、これからの先を見てずっとここを運営されていくのか、それよりもその段階はとりあえず一区切りついたので県全体を見て、ここを運営されていくのかであり方は大きく変わってくるのではないかという意味で書きました。
- 中間支援のその、今までたぶんここの津のセンターというのは県の中ではどっちかという先進的なものとして取り組まれてきて、昔はあまりなかったんですよ。全然なかったわけではないでしょうけど、各地域に中間支援センターというのはなくて、それが今、市町にどんどんできてきている状況があって、その中で今までどおり先進的なモデルと

していくのか、それとも県域という中でやっていくのことで、やはり進め方とか考え方というのは違うのではないかというところなんですけど、ここの場合どうでしょう。やっぱりみなさんのご意見としてどちらの方向に考えてられますか。今までどおりにやっていく、先進的な形で先頭を切ってやっていくのが三重県なのか・・・

- ちょっと整理したいんですが。私、始めから違和感があったんですけど、三重県の中間支援センターとしてっていう表現ですけど、県の中間支援センターとしての機能ということになると、じゃあ、どこが組織を担っているかとなるとNPO室のことなんです。機能はNPO室、もしくはこの間までいたセンター運営委員会とNPO室の共同体が中間支援センターの組織としての重要な部分。また、場所としてのいろんなサービスの提供としては、みえ市民活動ボランティアセンターが担ってたわけですよ。だからこれをひっくるめて、県としての中間支援センターというのなら、行政に中間支援の役割を担わそうという話になってくるんですよ。インターメディアリーという言葉があるでしょ。それがこちらとこちらを取り持つ、もしくは官と民を取り持つ、もしくは民と民を取り持つ。そういうコーディネートする機能を指すというのなら、県にやれと言ってることと同じことなんでよ、これ。今の表現は、「みえ市民活動ボランティアセンターは三重県の中間支援センターか」というのは「NPO室はインターメディアリーか」と言ってることと同じことなんです。それ違うと思うの。だからこの場合、もっと明解にこのみえ市民活動ボランティアセンターをどのような機能を持ったものにしていくべきか、その中に、県から、県が今している役割を民間委託して民間が持つと。その運営をどうするかという話だと思うの。NPO室のことを中間支援センターと言ったらいけないと思うんですけど。これを言うのならNPO室がその組織になってしまうの。そう思いませんか？
- 基本的に今のところ、まあ将来は別として民間でインターメディアリーとしてやっていく団体というのがもっと育ってきて、充実したら・・・まあそれが理想のビジョンかもしれないですけど、今のところ、現実には行政の政策として行っていく中間支援というんですかね、その機能を民間がどこまで担えるかっていうこと。

#### 【何を研究していくのか】

- 私たちが研究したい、この研究のテーマに差し替えてみると、このみえ市民活動ボランティアセンターを民間委託していくというその内容の一つというのは、この施設の管理運営と、NPO室が持っている仕事の一部を民間に委託するという話ですよ。それだけ。そうするとNPO室が持っている業務を民間に委託するっていうことはソフトです。ソフト事業ですよ。NPOの活動支援をするだとか、情報の受発信を手伝うだとか、コーディネートをする能力を高めるだとか。そういうソフトの部分を、県は民間に委託しようとしているわけですよ。それと同時に、この場所としてのセンターの管理運営を委託しようとしている、この2つがあるわけです。それで、このみえ市民活動ボランティアセンターもしくは、今、県が委託しようとしている内容を、どのようなものがこれから理

想として社会に位置づけられるべきかということを考えていくと、この2つのソフトと施設の管理運営というのが明解だと思うんですよ。これをどうしていくかという話です。これでいいのか、もしくは、このまますんなりと委託する内容の中にどういうふう書き込めばいいというのを言うのか、もしくはそれを飲み込んだうえで理想的な民営の委託の方法、民間へ移していく、どの機能を民間に移していけばいいかということをお話し合いたいです。今日は情報共有していく、それから課題の認識をしていくという8月の議論だからみんなが認識を一致させるという点においては、非常に有意義な時間を使ってると思うので、そこをきっちりとして、時間をかけたほうがいいと思うんですけど。

#### 【県NPO室の機能】

- そうですね。ここの県としての機能は大きく2つあると思います。ここの場としての機能。あともう1つの課題は、実際にもやっている機能とかで、場ではなくてソフト事業ですね。ソフト事業のところで県と民間がこれからどうしていくかというところに課題がありますよね。この2つをまず分けて考えたほうが考えやすいですよ。じゃあその部分を2つ分けて、どっちから整理していきましょうか。こっちにソフトの部分と、施設の部分に分けていきましょうか。
- 委託したい部分というのは、この辺を整理してその後の話ですかね。先に考えたほうがいいですか。それはもうすでにあるのか。それは、ただ県のほうの持っている部分というのはすぐに出てくるものなんですか。ごめんなさい、その辺、NPO室でみんな理解されてます？今現状としてどんなふうな仕事をNPO室としてやっているかというのは、たぶんそれぞれバラバラでは関わっていると思うんですけど、全体として把握している人ってあまりいないんじゃないかなと思うんですけど。それはすぐできるものですか。
- 例えばですね、市民活動ニュースの発行と、ホームページですよ。
- あの、今やっているのはまさにここの管理ですね。ここのセンター全体の管理をまずやっていますよね。あと、書いてもらってあるんですけどニュースの発行とかホームページの運営管理をしますし、ソフト的な話になってくるんですけど協働の推進ですね。協働事業提案の募集をしたり、いわゆる協働の推進ですね。行政とNPOとでやっていく際のルールの定着というのを。まあこれは県も市町に対してもそうなんですけど協働の推進をやっていると。あと、中間支援センターのネットワーク化、あるいは中間支援センターの支援力の強化の手伝いをできないかなというようなことをやっています。中間支援組織に対して、またこれ新規事業の話なんですけども、例えば研修会をして市町の支援組織に研修会をしたり、あるいはネットワーク化をしてもらうような何か手助けをさせていただきたいということですね。ゆくゆくは、市町のセンターに力をつけてもらってネットワーク化していったら、NPO室の技術の移転ができるということを見据えて、中間支援組織の連携強化とか支援力の強化とかをしていきたいと、まあこんな仕事をしております。
- ホームページというのは情報の受発信も含んでいます。

- ・ 協働推進は、協働事業の提案募集とかですね。
- ・ ニュースの発行というのがボランティアニュースですね。それとNPO室のホームページの管理、これもいいですよ。で、協働提案事業がありますよね、あとふりかえり会議というのがありますよね。あと他にもありましたか？
- ・ そうなんですか？ だいたい大まかでわかればいいんですけど。これは情報交換会なんてやってるものですね。
- ・ 県としてはですね、協働推進とそれから個々のNPOを支援するのではなくて、個々のNPOを支援する中間支援組織を支援して、NPOの底上げをしていきたいという狙いですよ。おおまかにいうと。
- ・ わかりました。ざくっと、今NPO室の目指しているのは、さっき整理してもらいましたけど、協働推進はしていきますと、ただそれは中間支援に支援をすることで、個の団体に直接支援するというのではあまりないと。それで、あとはなるべく中間支援のほうに支援をしていくという形で協働推進していこうというふうに考えているというのが、三重県の方向性ですね。
- ・ NPO室のホームページというのは個々のNPOが常に情報をとろうと思ったら取れる体制と、情報を循環させる機能を、県が一步踏み出すことによって、世の中の情報が回るという役割を県が担うべきだということで、ホームページだとかニュースだとかやってるわけですよ。広い視野から見れば情報の循環、それから協働を推進すること、それから個々のNPOを支援する中間支援組織を支援することでNPOに力をつけてもらうということをする。だから、全体で言うと市民セクターの発展を応援しているわけですよ。
- ・ なるほど。だから大きく分けるとこういう3つになるのかな。
- ・ 3つといわれると、そのニュースとホームページは、またもう一つ大きな括りがあるはずなので3つの柱ですよ。ニュースやホームページというのは個々ですから。
- ・ 今、NPO室としては、この方向でいっているということですね。それで、このままの推進をしていって。まあひとつはこのままでいいのかな、というのは民としてどう思っているのかというのも・・・
- ・ それは違うと思います。そういう出方をしてくるんだから、それをどういうふうに受けていくかというのが私達の課題でしょ。なんだったら、もっとNPO室の業務があるじゃないの、もっと出したらどうなのって言えるかも知れないよ。
- ・ それもありますね。こんなのももっと必要だよって言うのも言えるでしょうね。
- ・ もっとここにあるじゃないの。NPO室の事業があるじゃないの。それも民間に渡せませうってことをもしかしたらいえるかもしれないと言ってるだけで。
- ・ 一応じゃあ、今、民とやっている以外では、あとは認証の分だけですよ。
- ・ まだあるって。これだけをしてるわけじゃないんだから。
- ・ 細かくはそうですけど、ざくっといくとこれ以外でいうとNPO室でやっているのは認

証業務。後はもっと細かいのがいっぱい・・・。

- それならNPO室の仕事を全部知りたいなら一度説明してもらったらどうですか。
- っていうか、みなさんも知ってます？
- 説明してもらったらどうですかっていうの。知りたかったら。
- どうですか？だいたいわかりました？NPO室自体の・・・まあ細かいことは聞くつもりはないんですけど。
- センター全体の施設管理が一つ、ニュースの発行やホームページの管理、認証事務などの活動支援が一つ、協働推進の協働提案事業やふりかえり会議が一つ、もう一つが中間支援とか市町の連携というところからの研修やネットワーク化の支援が一つです。情報の循環や市民活動ボランティアセンターの人件費や市民プロの企画等は、活動支援に入っているの、NPO室の事務事業は4本です。
- 指定管理者制度というのが、そもそもが、基本的には施設の管理なので、そこへうちは一方でNPO政策もしているの、政策の部分までもやってくれとはできないもので、基本的には施設の管理なんです。そこへ施設の管理に加えて、ニュースの発行とかホームページの運営とかそういったあたりですね。あと、ここの施設で今、市民プロがいろんな自主イベントをしているので、そういったものも出せるのではないかなと、まあこれはこれからご意見を聞いていかないといけないんですけども、協働の推進とか中間支援組織のネットワーク化とかいう政策の部分については、依然として県の仕事として直営で残っていくのではないかなと。それで、それ以外に何かプラスして出せるのではないかなと。あとは他に何かあるかちょっとわからないんですけど、今のところ考えられるのはそうかなと。

#### 【みえ県民交流センターの施設管理】

- みえ県民交流センターの施設管理という部分を例で言うと、施設管理というのは例えばどんなのがあるのか。あつまず、前回にも少し出てましたけど、名前の問題がありましたよね。これも一回どこか途中で話をしないといけないと思うんですけど、とりあえず今は施設管理というのはどんなのがあるのか。
- ここのワンフロアですね、3階全てが、みえ県民交流センターなんですね。ここの清掃とか受付業務。そういったものが運営管理ということですよ。
- 施設管理というと・・・
- まあ清掃とか維持管理ですね。修理とか、あと電気・水道・ガスですね。
- 保守メンテナンスの部分・・・
- そうですね。
- 清掃業務も入りますよね。施設管理の部分というのはいいですか。あとここで何かあります？管理の部分。なんかわかりやすく言ってもらえると・・・
- 年に1回のセキュリティの部分。一番大事ですね。
- ああ、その清掃も光熱水費もですね、このビル管理会社から請求書がくるんです。この

ビル1本で管理しているものですから3階フロアの電気使用料、水使用料、清掃はこの部分だけ個別で契約ができるようになったと思うんですけど、個々に細かい電気代でも何の電気代というのが細かく来るわけです。それに見合っただけ払っていくという管理の仕事があります。

- ・ 今そういう形でしているということですね？
- ・ はい。それは光熱水費だとか言いますが、ビル管理との付き合いがあるんです。ビル管理会社とのやりとりがあります。セキュリティもそうです。ビル管理会社を経由しての危機管理です。
- ・ 今は清掃業務のみ個別でしていると。
- ・ トイレトペーパーを買うとかいうのもありますし。

#### 【NPO室のソフト機能】

- ・ なるほど、そういった施設の管理がありますと。だいたいこんな感じですか？いいでしょうか。じゃあNPO室のソフト部分というのは、これは今話したから、だいたいいいですか？

#### 【みえ市民活動ボランティアセンターのソフト機能】

- ・ あとじゃあ、この三重市民活動ボランティアセンターのソフト部分。現状では、例でいうとどんなことをしているか。イベント企画、はい。
- ・ 市民プロが、まあ任意でやっていますけど、イベント企画ですね。例としてはサロンとか、あとは機関誌ですけど「みえポケット」や、年4回ですけどいろんなセンターの情報も織り交ぜて発行していますし、そういう業務もいいますかね。予約管理ですね
- ・ 予約管理は施設管理かな？
- ・ 会議室・交流スペース。ここを利用される方の予約・・・
- ・ まあ、かぶってるところはありますよね。
- ・ 場所があって、場所の管理をしているのだから・・・
- ・ セキュリティというのは、業者という意味ではなくて？
- ・ 危機管理としては、3階のフロアの管理をして、場所の予約とかいう管理は複合のところ・・・してない？
- ・ 場所としては、もう、会議室と交流スペース、あと機材の予約とか限られていますのでそういうのはみんなこの受付のほうで。
- ・ ちょっとややこしいところなんですけど、西側は要するに、ここ全体の交流センターだけでも社協さんところもそうですけど、要するに貸してるんですよ。貸すじゃないのか。
- ・ フロアの管理運営はNPO室に任されてるんですよ。おしごと広場などがあるんですが、それはうちが、仕切ってるような形になるんですけど、使ってもらってますけど。管理についてはうちがまとめてやっているということです。
- ・ そうですね。そういう形でちょっとややこしいところなんですけど、まあ一緒に入って

て、NPO室が施設の管理をしていると。いろんな部署が入ってはいるけれど。というように形になりますね。なので、予約がどっちに入るのかあれですけど、まあ微妙ですけど場所を貸す支援という意味では、予約の業務に入るかな。あとだいたい・・・相談業務とか。

- いろんなボランティア相談とか。土日がやはり県の職員が休みということですので、そういう場合の簡単な窓口相談を受けておまして、もちろんそれは、できないものはまた後日ということとそういう案内とかやっています。夜間・土日も開いていますので、もちろん。そういう相談業務ですね。
- だいたい、ざくっと、どうでしょう。イメージ的には。NPO室のホームページと、あとセンターはセンターでホームページを管理していると。だいたいこんなイメージで。これ、それぞれ管理と、このNPO室がどういうふうなのを、今、しているか。方向性というのはある程度NPO室の方向性を、だいたい、ざくっと、見てもらったと思うんですが、こちらの施設管理と、あとはソフトの部分の事業、これは少し分けて一回整理をしていきたいと思います。

#### 【前回出た課題から】

- その中で前回から出てきた部分の課題っていうのが、資金の問題・人材の問題・ネットワークの問題、あと情報の受発信の問題・支援活動の問題というのが、だいたいこの間整理させてもらって出てきたあたりのソフトに関する課題を整理してまとめた部分です。
- まずはどこからいきましょうか。ちょっとネットワークで出てきたんですが、いまのところ、ここから見るとネットワークの部分に関するものというのは、書いてないようですが、この辺は・・・結構、ネットワークの課題って出てきているんですけど。ネットワークのところをちょっと見てみましょうか。
- ちょっと資料を見てもらうといいと思うんですけど、ネットワークの部分っていうのが、まずは三重県のほうの課題として県庁の中での連携というのが課題じゃないかなというのが出てますよね。それで、NPO以外との連携強化。コミュニティビジネスとかCSR、社会貢献とかのことですね。この辺の連携の課題というものが出てきています。あと、市町との市民活動センターの連携についての分担の課題というのが出ています。あとは情報の集約機能の課題。この辺はだいたい一緒のようなことかな。そうするとネットワークの課題というのは今ここには・・・とりあえず今はないんですよね。
- 県庁の中での連携、または、地域福祉室とかが書いてあるでしょ。このところを、言っているんでしょ、今。一番上。これが三重県の間支援センターでこれをもっと強化しないとイケないじゃないかということを行っているわけでしょ。じゃあ、NPO室に、やれって、言っていることですよ。誰がするのって言いたい。市町と各市民センターとの連携についての役割分担をやれということは、NPO室でやれと言っているの？それとも、交流会にやれと言っているのか、誰に言っているのか。



- ・ 今、そうしてホワイトボードに星印をつけていただいて、ようやく指定管理の部分で委託していくものとNPO室さんが業務で担っている部分というのが、はっきり目で区別できて理解できたんですけど、私が書いた地域福祉室との連携っていうのは、全部を一緒に考えてしまって、政策になってきてしまっているんだと思います。NPO室がどうやって中間支援の組織を作っていくのかとか、そういったものも含めて、あり方研究会の中で話し合いをしていって、それに基づいて、施設管理とかニュース発行の内容が出てきたり、NPO室のホームページができてきたりするのかなど、思っていたものから。NPO室の話にもなってしまうんですけど、ここでネットワークというふうに、県庁内でのネットワークというふうにかかせてもらいました。なので、この、あり方研究会で今話していくことは、全部なんですか？
- ・ 基本的には、やはりソフトをどうしていくかということになっていくと思います。なので、言ってることとは、たぶん違う意味で言ってるのではないかと。
- ・ そうですね、ソフトのところを、あり方研究会で今から話をしていくということなんですか？

#### 【研究会の目的の再確認】

- ・ 今は、課題共有がテーマなんですよ。それで、今度、NPO室でする懇話会で正式なビジョンに入っていくんですけど、今のところは課題の共有なので着地点はまだなんですけど・・・NPO室から言ってもらってもいいかな。まず今のところみんな課題を共有するというのがテーマです。今の現状と課題、ということで捕らえてもらえばいいんですけど。なので、今のところだいたい3つに分けてもらったので、今のところでは整理がされていると思うんですが、分け方、大丈夫ですか？問題ないですよ。じゃあ、この中でネットワークの部分っていうのは、あと、その他でなんですけど、NPO以外との連携の強化っていうのは、やっぱりずっと課題ってみんな持ってきてると思うんですよ。このNPO以外との連携の強化って誰が言ってくれたんですか？
- ・ 課題っていうのか、あくまでもみえ市民活動ボランティアセンターの課題を出したのではなくて三重県の中間支援として、どういうことがあればいいのということで、意見を出してあるので、これと合わせてたら話がややこしくなる。そこは、県としてはこういうこともやってほしい、県内いろんな事業がある中でこういうことも、なかなかバラバラのところがありますから、そういう部分をまた市町に情報提供するなりの機能として、やってほしいという話として置いてあるので、これは、どこがやるとか、やらないとかいう話ではなくて、三重県の中間支援組織の、県全体を見たときの中間支援として、ここはもっと強化してほしいですよっていう意見なんです。これは。
- ・ なるほど。ビジョンのところっていうのかな。そういういろんな各セクターと連携をしているというのが理想の形であるという中で、こういうのは必要だということで、それはNPO室がしていくことかもしれないし、ひょっとしたら民としてもしなければいけないところもあるんじゃないか、というようなこと言ってるということですよ。や

っと、ちょっとわかってきた感じなんですけど。

- まずは、この前やったことというのは、県の間接支援として何が必要か、というふうな大きなあり方というのが一つの課題であると。それをちゃんと押さえていくというのも一つの課題であるということですね。これがまず1点と、あとは、現状から見て、例えば指定管理するなら、どの機能を民間に渡していくべきなのか。ハード的な施設管理部分とソフト的に分けて、きちんと整理していこうよ、というのが課題なわけですね。それは分けて考えていかないとややこしくなるよという話ですね。

#### 【中間支援組織とは】

- ではですね、あとこのメンバーというのは何でしたっけ？この一番最後の。
- とりあえず、今までの話をちょっと受けずに、っていうことになってしまうかもしれないですけど、先ほど話がありました先進モデルでいくか、それとは別に地域のネットワーク、地域の間接支援センターを考えていくということであれば、研究会に入ってくるメンバーが変わってくるんじゃないかということでも出させてもらったんですね。例えば地域の間接支援を担っている組織であれば、たとえば他の団体が入ってくることも考えられるんじゃないですかということなんですけど。
- わかりました。これ、多分さっき少し言った分野別の間接支援というのも三重県にあるっていう現状は多分、三重県でいうとどうでしょう。知らない人もけっこういると思うので・・・。
- だから、こどもNPO系と福祉系、まあどっちは置いて。それで、環境系は、まだ全県的ではないので、だから、分野で未整備だと思いますけど、それぞれが自分ら自分で作っていつてますから。だけど、そこを僕の感覚では、無視されてる感覚があるので、公設民営の市民活動センターというのは、行政側から見たセンターなので、それを中間支援組織と呼ばれてしまうことに僕は抵抗があるんですよ。僕らが中間支援組織っていうときは、もっと違うことを指しているの。ここには中間支援組織はいません。ごめんなさい。分野別の間接支援とかが入るっていうのも、認識としてなかったですね。そういう感覚がないんですね。
- この辺どうですか？行政的には、こんなふうに考えてて、民間ではそんな理解ができますか？分野別でこうあるよというようなのは、だいたいご理解は大丈夫そうですか？
- 考えかたのところかもしれませんが、分野別の間接支援といわれているネットワークをどんなふうに考えていくかというのが課題としてありそうですね。
- うちの伊賀市の市民活動支援センター設置のときに、組織論ていうか、ネットワークのあり方みたいなことを一つ考えたことがあって、当然ながら中間支援で何でもかんでもというか、平たく受け継ぐというか、窓口を限定しない中間支援というのは当然ある。当然ながら、専門分野において先進的なNPOというのは、中間支援を担ってるんですよ。その中で専門分野と専門分野、まあ異文化もあるんですけど、専門分野をつなぐNPOの間接支援のネットワークと、平たく全体を見渡している窓口を限定しない中間支

援のネットワークとが、誘起的に連携しているのをイメージしたことはあったんです。最終的にそういうふうにしないと、行政が絡んだ官設民営の話からいけば、この指定管理というのはそんな話ですから、何かの分野に特化するわけにはいかないという、意見にもあったような6割の付き合いみたいな話をせざるをえないので、専門分野でどうしてもカラーが出るというのは、非常に難しい部分があるのかなというふうには思っていて、できるだけ専門分野に偏らないような形で、何でもかんでも一時的に受けて、次に専門的な中間支援組織にその課題をご協力願いながら解決をしていくというようなイメージを作ったのは、伊賀市の市民活動支援センターであったのは確かです。当然ながら、先ほど言った分野別の中間支援はたくさんあるんですよ。ただ、認識の中では専門分野でも、私たちは中間支援だと思ってるし、行政側から見た中間支援に対してのギャップは、きちっと押さえといたほうがいいのかないかなというふうに思います。

- ありがとうございます。だいたいみなさん、県内のそういう状況があるってことはいいですか？各分野の中間支援とかがいっぱいあってこれが忘れがちなところもありますけど、そういう状況っていうのは把握しないといけないと思います。

#### 【ネットワークの課題に戻って】

- 出された意見を見ると、すごく広げすぎて純粋に議論テーマを検討しようかなと思っっているのかなと思っっているんですけど、今の方向に行くと、なんか具体例が絞られすぎていて、今混乱しててですね、どちらを中心にすればいいのかと・・・
- 先ほど議論の中で、少し具体的にしていってほしいんじゃないかということだったので、ちょっと具体的にはしているんですけど、なるべく自分は目指すべきもののまとめはしていたんですけど。こんなふうなものが、ありますよ。それで、これから議論しながら目指すべき姿っていうのを想像しながら、みなさんで議論をして進めていくといかないかと思っますのでその辺でご協力をお願いしたいと思っんですけど。だいたいネットワークの課題の共有に少し入ったんですけど、これはそんなところでしょうか。前回出てきたあたりで、一応、今、全部さらっと通させてもらったんですけど。ネットワークはだいたいそんな感じですか？
- ネットワークで言うなら、中間支援を考える場合は、全国レベルでの行政とか、国の動きを、セクター全体としてどうかとか、その辺のところは、当然視野に入れていかなければいけない。そういうふうなところもあると思っます。
- なるほど。全国的な動き。政治とかいろんな部分も含めて、社会情勢とか地域とかも含めて考えていくところでないといけないなというようなことが、ネットワークの部分というので出てきました。この辺、情報と少し絡むかもしれませんがね。
- 今話が出たからということなんですけど、やっぱり県の役割っていうのは、県の中を見るのではなくて、外の情勢から県の中まで、まあ言えば市町村のところまでっていう。それで市町村はどうなのって言ったときに、市町村のレベルより大きな単位から市町村の中までっていうような。そこら辺を小分けしておいて、話をした方がわかりやすいの

かなと。結局、市町村でも全国に出て行く場合があるんですけど、統括的にするのは、やはり県が中心の仕事ですよね。まあ全域に。それで、市町村が行くならば、どこか特化したところを見に行き、どうのこうのっていうのがあるんですけど、全体を見渡すのではなくて、自分が合ったところを探しに行き、ということになるので、そういう探しに行くときの情報源っていうのはどこなのって言うと県なのか。全国の情報を持っているのが県なのかっていうことからいくと、今、言っている県の間接支援の全体を見渡したときには、県の役割の範囲と市町村の役割の範囲、それからもう一つあるとすれば、民設民営っていうのは、そういう枠は全然ないので、結局は枠のない範囲っていうのが、また別に一つあるのかなというふうには思うんですけど、少しその辺も整理したほうがいいのかないかなというふうには思っています。この中間支援のあり方というか、考える上ではいいのかないかなというふうには思います。

- この辺、そうですね。どうでしょうか？ネットワーク、その辺の部分で先ほどの全国的なもの動きだとか、そういうのも全部の方がいいと。その辺で少し整理をしなければいけないんじゃないかなというところの意見だと思うんですけど、この辺どうですか？中間支援のあり方についての部分で、この県のあり方についての中身ですね。

#### 【どう議論を進めるのか？】

- 基本的にNPO支援の部分だけを行政がするとなっているので、全部出したら右から全部すればいいと思ってるんですよ。はっきり言って
- えっと、どこの部分を・・・
- そのNPOの基盤は先ほどの情報であったりとかで、やはり弱い部分を持っているので、どう強めるかっていうことで中間支援組織を支援したりという話とか。本当は余計なことですよ。自分達ですればいいんだから。だから、余計なことでも語弊がありますが、業者がする必要はないわけですけど、今やる気があると判断して出しているんで、どんな割合でやっていくかという問題を、最初は多くなるかもしれないけど段々少くしていくという話だと思うんです。だから、僕は集中すべきだと思ってるんです。だから、そういうさっき言った、僕は民間に三重のNPOサポートセンターというのは、作ったらいいとは思っていますが、そこでできる問題がほとんどですよ。今、言っている問題というのは、体制とかですね。だから、行政として判断しているこれと、これと、これを委託しようとしているということで、いいんじゃないかと思っています。
- 今、挙がっているのは、やれている部分じゃないですか。やれていることって。だから、僕ら民間としては違うこともしていますよということも言っているわけです。それをNPO室や行政にしてくれとは言っていない。だから、それを出したらキリがないと思います。支援のあり方っていっぱいいろいろあるので。
- 今は、中間支援の目指すべきあり方の部分で話をしようということですよ。
- じゃなくて、キリがないので、今その具体的に何かっていうと、その中で今とりあえずできる部分を委託しますよって言うだけですから、それでいいんじゃないです

かと思っています。

- どういうことでしょうか？
- ここで具体的にしたのに、その次に、また、このあり方じゃなくて、中間支援組織のあり方に繋がってきたので、また戻っていったんですよ、今。ほとんどは、行政でやるべきこと、民間でやるべきことと整理すればそれで終わり。
- ネットワークのことを整理して終わり・・・
- 全然、話しなくていい問題。
- えっ、まず、どんなふうにしてあるべきなのかっていうのは議論しなくていいですか？
- 全体のですか？戻すんですか？
- いえ、これから、ここで中間支援センターをしていくときにどうあるべきかっていうのは、みなさんで議論しなくていいですか？
- 私、思ってるんで、今、個別の話になってきたなという感じがずっとしていたんだけど、それは、このセンターのあるべき姿を議論するとき、じゃあこれもいる、あれもいるっていう話になってくるわけでしょ。それは、また時間を費やしてするわけでしょ。
- ちょっとごめんなさい。さっき言われてたのは、そんなことでした？個別の話でしたっけ？
- だから個別の話をする必要ないよね、まだ、って言っているの。
- 個別の話でした？今、課題の共有なんですけど。
- だから、これはいりますか、もっと他にありますかって言われると、ちょっとそこまで、まだ、いなくていいって言うの。要ることはいっぱいあると、やっていることはこれで一杯しているんだから挙げかけたらキリがないくらい挙がるんだから、もっとありますかっていうことは、別に必要ないんじゃないですかっていうこと。
- この根本的な部分でね。はい、その辺じゃあ細かいところで整理するとここからですよ。
- 実際具体的にするのは、この今出てきた課題をいかに出していくかっていう・・・
- それって、私方向が逆じゃないかと思うんです。今言われたのはやっぱりどんなものが欲しいかですよ。三重県の市民にとってどういうものが欲しいか。これがどんなのであったらいいか。
- 理想像ですね。
- それで、どれを指定管理の中に出していくかじゃなくて。
- それは後の話ですよ。
- だから、いきなりそれは無理だろうから順次、当面3年後にはこうこうではないかという話をしないといけないのではないかな。私、NPO室のほとんどは、民でやれる話なんです。だからいきなりくられて、民でやりましょうと言ってもやれる人も、それから県もそこまで整理されていないだろうし、受ける側の民にも問題があるかもしれない。だからそれは、さっき言われたように施設管理にプラスアルファでとりあえず出発して、

その次どうするか。すっかり民間に渡してしまえと、県の仕事じゃなくしてしまえという話になるわけでしょ。

- 要は、理想はみんなが出すけど、いきなりそれは無理だから、当面どんな機能から出していったらいいのかっていうのは短期的なことになるわけですね。その方がいいですね。それで1番がその長期的な最終目標の理想の姿である。だから当面はこんな機能はまずは出していくべきだろう。だけど理想は1番にあるようなのを民が全部担えるのが一番いいだろう。
- 出していくって言うんじゃない、市民が担う。
- じゃあ中間支援を市民が担うということですね。
- どうでしょう。まあ県の間接支援、とりあえず長期的なのはまた別として・・・まあ将来どんな姿が理想かというのは完全に一致しているわけではないですよ。多少はやっぱ人によって違うんでしょうけど、とりあえず、ちょうど多分中間支援でいうと3年後くらいに、どの機能が民として担えるのかっていうあたりをポイントにして、少し整理をしていったらいいんですかね。それはここからちょっと進めていって、これがあるところの辺の機能も出てくるのかな。施設管理の部分もね。両方含めても考えるかもしれませんが。
- はい。じゃあまずこの辺、どんなものであればいいのか。あつもう時間がきましたね。だいたいでも、まあこれ、まだもう一回くらいしないといけないですかね。

#### 【作業部会を作ります】

- 作業部会を作らない？このテーブルに出す前に何人かで作業部会を作って、テーブルに出す案を作るという役割を誰かに荷ってもらわないと無理があると思う。時間がもったいないので、その必要性を感じました。
- ぜひ、協力してくれる方は協力していただければと思います。すいません、つたない進行で申し訳ないです。それではまたもう一回整理をさせていただいてもらって、次回は9月10日ですね。では、作業部会のほうですね。作業部会をしてくれる人はいますか？作業部会の日には、また後で話をしたいと思います。次回、また10日の前半でいいですかね。それで作業部会はまた後で日程を調整したいと思います。それでは、ここであり方の研究会の方は終わらせていただきます。

## 板書（現在の業務内容）

| みえ県民交流センター   | NPO室  | みえ市民活動ボランティアセンター   |
|--|---|--|
| <p>★①施設（アスト津3階）管理事業</p> <p>（ 清掃・設備管理<br/>光熱水費<br/>電球・トイレトペーパー<br/>管理組合負担金・共益費<br/>セキュリティ ）</p> | <p>★②活動支援（情報の循環）</p> <p>〔 ニュース発行 〕<br/>NPO室HP</p> <p>②活動支援（法人認証）</p> <p>③協働の推進</p> <p>④中間支援組織の支援・市町連携</p> | <p>★②活動支援（センター事業）</p> <p>（ 嘱託員8名<br/>イベント企画<br/>アストdeサロン<br/>みえポケッツ<br/>各種予約<br/>各種相談<br/>センターHP ）</p> |

①～④がNPO室の主な事業。★は、指定管理者への委託を検討している業務。

（① みえ県民交流センター管理運営事業、② NPO活動支援推進事業、③ 「新しい時代の公」協働推進事業、④ 市町市民活動センター連携事業）

**長期的課題** ①県の中間支援はどんなものであればよいか（目指すべき姿）。

**短期的課題** ②だから当面どうしていくのか（どの機能を民が担うのか）。